



平成17年4月17日

この町

第69号

発行／九重町議会

T073-4803
大分県玖珠郡九重町大字後野上8-1

☎ 0973-76-3814

編集／議会広報編集委員会

印刷／尾花印刷有限公司

議会だより



(野上)木の葉保育園



(南山田)木の葉保育園



(飯田)木の花保育園



(東飯田)木の芽保育園

町内4保育園の卒園式並びに終了式

3月定例会

- 第1回定例会 新年度予算ほか P.2
- 新しい議会構成（議長外） P.3
- 陳情・請願 P.4
- 議案・契約など P.5
- 鳴子川大吊橋建設・経緯と現状 P.6
- 一般質問 8名 P.7~14
- 私のひとこと 東飯田 永楽 麻美さん P.15
- こんな町にしてほしい 南山田中学校1年 工藤 大器さん P.16
- こんな町にしてほしい 南山田中学校1年 工藤 大器さん P.16

第一回定例会

鳴子川渓谷周辺整備事業(周辺整備)や
町道宝泉寺栗原線(2工区)
恵良住宅建設(2棟目)など
17年度の事業と予算決まる

平成17年度第1回定例議会は3月4日から18日までの15日間開催され、議案46件、発議3件、陳情3件、請願1件、継続審査1件を慎重に審議をいたしました。

（九重町一般会計当初予算）	
（国民健康保険特別会計）	65億7千8百万円
（水道特別会計）	13億1千2百71万3千円
（同和住宅資金貸付事業特別会計）	13億4千83万7千円
（飯田高原診療所特別会計）	2百42万6千円
（老人保健特別会計）	8千5百65万1千円
（介護保険特別会計）	16億1千6百8万8千円
（南山田小学校大規模改修事業費）	10億7千百54万円

鳴子川渓谷及び周辺整備事業費

約3億4千万円

中山間地域等直接支払事業補助金

約5千8百万円

A 南山田小学校の大規模改修で仮設校舎のリース料が約7千万円とは高過ぎるのではないか。



Q 南山田小学校の大規模改修で仮設校舎のリース料が約7千万円とは高過ぎるのではないか。

A これまで雨もり等もあり業者に修理をしてもらつたこともあるが、今回は5年以上経過しており、タイルの張り替え、裏口の進入路をスロープに、裏口機材等搬入口に屋根を付け等の改修を予定しています。

Q 南山田小学校の大規模改修で仮設校舎のリース料が約7千万円とは高過ぎるのではないか。

Q 中山間地域等直接支払事業補助金

Q 当和五賀の主なもの

A 温泉館の管理運営は福祉協議会から町に返したいとの申し入れがあつたと聞くが、来年以降、民間に委託するにしても運営がトントンで行けるようにならなければならぬがその対策は。

Q 温泉館の管理運営は福祉協議会から町に返したいとの申し入れがあつたと聞くが、来年以降、民間に委託するにしても運営がトントンで行けるようにならなければならぬがその対策は。

Q 介護保険は大丈夫か。（高齢化が進む中で）

A 施設利用者の増大で、今後の運営は厳しくなる。

A 最近は利用者が少なくて赤字であり、原因究明を進め1年かけて検討し、将来は民営化の方向に移行したい。

Q 文化センターの改修費が築後数年で玄関木一株等のタイル張り替えなどで約1千万円計上されているが建築、設計に問題はなかつたか。

Q 約1億円

Q “赤字”温泉館運営は、最近は利用者が少なくて赤字であり、原因究明を進め1年かけて検討し、将来は民営化の方向に移行したい。

Q 約1億円

Q 業務用車両の購入費用

Q 補正予算賃料収入

A 今年1年経過を見ながら収支のバランスがとれるよう施設整備等検討して行きたい。

Q 農業水産費のマイナス補正が多い、完全消化を。



A 生産組織と話し合って計画するが、実行できなければ減額補正になる。

Q 補正予算賃料収入

Q 業務用車両の購入費用

新議長あいさつ

佐藤美登



る所存であります。

本年は新生九重町として誕生以来、幾多の困難を乗り越えながら50年の歳月を重ねてまいりましたが、今や三位一体の改革の中で多くの地方自治体と同様に本町もまた厳しい激変の荒波に遭遇していると言つても過言ではありません。本町の前途も多くの苦難が想定されますが2月に制定された「町づくり基本条例」の精神を要とし、禍根を残さないよう将来の九重町のあるべき姿をしっかりと見据えた議論を行うこととなりました。私にとりまして、誠に光榮でありますと共に、その責任の重大さを痛感していりますが、町民皆様のより非力非才の者ではあります。もとより非力非才の者ではあります。町政振興のため公正無私を旨とし、微力ながらも努力を尽くして参

春の日差しとともに新しい息吹が一面の山野を覆う季節となりましたが、町民の皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、私儀このたび去る2月の臨時議会において議長の重責を拝命することとなりました。私にとりまして、誠に光榮でありますと共に、その責任の重大さを痛感していりますが、町民皆様のご指導ご鞭撻をいただきながら町政振興のため公正無私を旨とし、微力ながらも努力を尽くして参

副議長

梅木征治

議会運営委員会

委員長	佐々木静夫
副委員長	佐藤勝憲
委員	河野範成
委員	小川克巳
委員	江藤一幸
委員	竹尾允文
委員長	竹尾允文
副委員長	坂本憲治
委員	小田大九郎
委員	河野範成
委員	六井太輔
委員	梅木征治

建設産業常任委員会

委員長	江藤一幸
副委員長	佐藤勝憲
委員	安部武己
委員	麻生盛高
委員	太輔

固定資産評価審査委員会

梅木文明氏の
選任に同意。

議員定数
16から13に削減

議会の動き

（1月）

22日

日田玖珠広域議会
(日田市)

8日 消防特別点検

14日 農業委員ブロック研

修会及び大分県農業

会議玖珠支部総会

24日 第56回大分県町村議

会議長総会（大分市）

28日 議会運営委員会

3月出生台演習場周辺

施設整備期成会総会

（玖珠町）

16日 新春子ヤリティーか

くし芸大会

20日 議長・事務局長研修

会（別府市）

26日より27日 日田玖珠広域

議会議員行政視察

（鹿児島県出水市）

28日 21世紀の舞土を担う

死後継者を勧ます

会（玖珠農業高等学

校）

（2月）

1日 2・1感謝の集い

9日 通報質に係る県への

要請（大分市）

15日 議員定数及び政治倫

理調査特別委員会

佐賀県嬉野議会視察

（3月）

28日 哚子川周辺調査特別

委員会

3日 本会議（開会）

10日 建設産業常任委員会

9日 本会議

8日 本会議

6日 本会議

4日 本会議

3日 本会議

11日 総務財政常任委員会

教育民生常任委員会

15日 本会議

16日 本会議

17日 生きがい健康づくり

大作戦

18日 本会議（閉会）

16日 大分自動車道四車線

化元成式

（大阪市）

25日 琉球老人養護組合

寿大学卒業式及び終業式

（2月）

20日 哚子川周辺調査特別

委員会

8日 本会議

5日 本会議

2日 本会議

育を考える集い

（3月）

3日

みなさん方の陳情や 請願はこうなりました。

陳情

- 川東上区長、財津幸光氏外2名からの「産業廃棄物処理場の建設に反対する陳情」については、地権者は今のところ産廃処理場は考えていない。

造成されている小倉山周辺

- NTTドコモ基地局建設移転要望東飯田の会、諫山久氏外10名から「携帯電話基地局建設の規制」については。

人体への悪影響や電磁波障害等、不安要素も考えられるが、短時間の審査では、実態把握も困難で、継続審査とし、引き続き調査することで意見の一一致をみました。

と言うものの、直下の湧水を飲用水として利用する周辺住民の不安は理解できることから採択することで意見の一一致をみました。

- 飯田東部地区区長会長、大津留敏加氏外14名からの「町道釜の口・須久保線の道路改修」については。

今後観光客の増加により、交通渋滞が予想される、観光道路としての役割が増すことから、政策

的配置付けによる改修が適当と思われる。よって、陳情の趣旨は理解出来ることから、採択することで意見の一一致をみました。

なお、用地の取得については、地元区長会、地域関係者の積極的な協力を求めます。

次世代を担う子ども達に対する关心と理解を深めることで、採択することで意見の一一致をみました。

- 教育の日制定推進委員会委員長、緒方秀則氏からの「玖珠教育の日」条例制定の請願については。

請願

▲野上小学校
◆ティーサービスを受ける皆さん

- 高度医療の存続と充実を願う代表、桑原寛氏から、「湯布院厚生年金病院と同保養ホームの公的施設として存続・充実に関する意見書の提出」については。

日本有数の専門病院として貢献しており、廃止されれば、地域医療の中核的存在を失い深刻な影響を及ぼすことは必至で、よって、採択とすることで意見の一一致をみました。



議案



2課を統合『ふれあい生活課』を設置



新成建設㈱（九重町）
入札業者
契約の金額
55,020千円

平成16年度宝泉寺栗原線B.P整備工事その4
契約の金額



平成16年度宝泉寺栗原線B.P整備工事その4
契約の金額

●無線放送施設負担金撤収条例の一部改正については。個別受信機が一軒に2台必要な場合は、補助対象外になり全額自己負担とする条例改正で適当であるとの結論に達しました。

●課設置条例の一部改正については。組織機構の見直しで保健福祉課と住民課を統合させ「ふれあい生活課」とするもので適当であるとの結論に達しました。

●道路認定については。宝泉寺、栗原線バイパス整備事業の1工区が完成し、道路認定するもので適当であるとの結論に達しました。



工事請負契約

平成16年度恵良住宅新築、第二期電気設備工事（建替）
契約の金額
52,500千円

入札業者
松栄電設工業㈱（大分市）
代表取締役 松木年広

平成16年度恵良住宅新築、第二期給排水衛生設備工事（建替）
契約の金額
318,150千円

入札業者
新成建設㈱（九重町）
代表取締役 小田浩治
契約の金額
67,200千円

入札業者
新成建設㈱（九重町）
代表取締役 松尾修二
契約の金額
318,150千円

入札業者
新成建設㈱（日田市）
代表取締役 江藤秀平
契約の金額
50,925千円



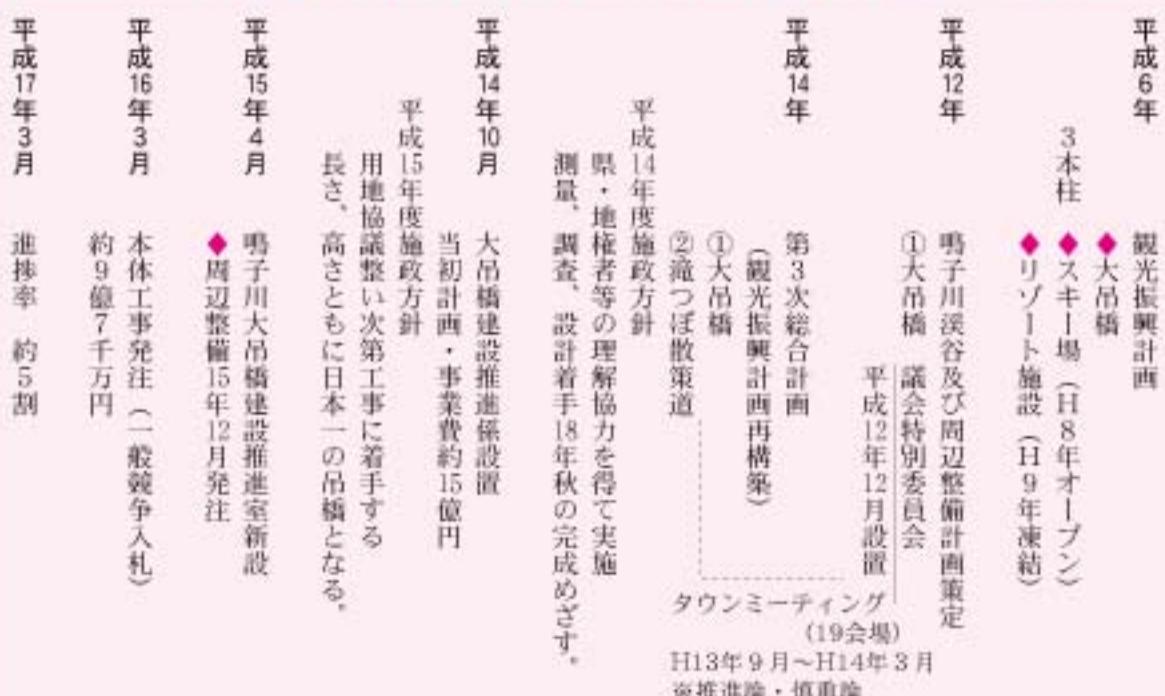
15年度新築の恵良住宅、前の空地が今年度新築予定地

●九重町政治倫理条例の制定については。特別委員会を設置し、議員の政治倫理、執行部においても議論を重ね、適当であるとの結論に達しました。

●九重町いきいきふるさと若者定住促進条例の一部改正については。第4条中「町税等」に改めるのは、祝い金給付で住宅や水道料の完納を条件とする。第5条第1項第2号、婚姻届出後引き続き10年以上定住した夫婦に定住促進奨励金を給付することについてが、H17年3月31日までに婚姻届をした夫婦を対象者とした。同3号は、出産祝い金の改正で、H17年から県の補助金も廃止され、給付額は半額になるが、一般財源で制度を存続するもので、いずれの改正も適当であるとの結論に達しました。

●町道路占用及び占用料徴収に関する条例の全部改正について。H17年度管理開始する法定外公共物との整合性を持たせるため、料金改正についても、これまでの料金体系を基本とし、県の占用料金市町村部分を参考にしたもので適当であるとの結論に達しました。

九重町の取組み



H12年4月

- 平成12年度 リーディングプロジェクト
(地盤債)交付税措置55%事業変更不可
- 平成13年度 地盤債廃止
- 平成14年度 過疎債事業でスタート
- 平成14年8月 県特別枠を指導
- 平成14年8月 15～16年度2カ年事業（圧縮）
- 8月 県土木建築部・総務部・商工労働部に陳情 ※県観光の目玉・支援を約束
- 14～15年度 過疎許可額（特別枠）
国・認定せず
- 14～15年度 県・一般枠を約束 大吊橋約8億
玖珠・九重合併協議凍結
(理由)大型事業・行政・対等合併など
当初要望大吊橋 約9億円
- 5月 県議会で知事が非合併町を特別支援しないと発言
- 6月 町長当選祝いで県出納長「自律のまちづくり」支援すると発言
過疎債変更要望
- 10月 大吊橋約7億円事業推進確認
過疎債一次許可通知
- 11月 大吊橋許可額0円
(理由)過疎債優先順位
①市町村合併 ②大分国体 ③その他
- 11月19日 県へ調査
再申請却下
- 3月 地域再生事業債 2・8億円申請

国・県等の支援

財源の変遷

当初リーディングプロジェクト（地盤債後に廃止）を充てるとしたが、補助事業プラス起債事業（優良債）に変更、その後、県との協議の中で県が国へ過疎債の特別枠として推進していただいたが、結果的には国の段階において不採択となつたことから、引き続き財源確保に向けた支援の要請をしてきた。

こうした状況の中で協議を続けた結果、県もこれまでの経過を重んじ、過疎債の一般枠としての支援が決定され、14・15年度事業は順調に進捗し、メインである吊り橋本体の着工までに漕ぎ着けることが出来た。

しかし、「収益のある事業については、過疎対策事業に馴染まない」との理由から16年度分は配分されず、地域再生事業債によって、16年度財源は確保出来た。今後は、財政負担を極力抑え、硬直化を招かない財政運営に努める必要がある。

私の一般質問

3月16日に8名が質問しました。質問と答弁の内容を要約してお知らせします。

将来ビジョンを早く出せ

町長／自律財政計画策定

法定協議会が合併の凍結を決めたのが昨年の3月、その後、町長が単独を打ち出して町長選を行つてから半年以上が経つている。自律の町に向けての具体的な行政改革を含めた町づくりの将来ビジョンを、早く町民に示すべきではない。

問 法定協議会

問 宝泉寺、栗原線の2工区以後の見直し等も考

問 ふるさと館、運営どうする

答 合併しようがしまいが、九重町の進む方向は変わらない。

14年3月に立てた第三次総合計画を基本に、昨年11月に自律推進係を作つた。組織機構の改革を行い、17年の早い時期に自律財政計画を作つて町の皆さんに伝えて行きたい。

答 宝泉寺、栗原線は一般財源でやる予定が、補助があり過疎債も借りられたので2工区までは計画的にやるが、3工区については見直しの対象として考へる。

答 今後は、ふるさと館に产品を出している会員百数十名で作つてゐる「ふるさと館活性化協議会」が中心となつて運営する様に話が進んでいます。



佐藤博美



15年度新築の恵良住宅

町長／活性化協議会で運営を

ふるさと館、運営どうする

ふるさと館は、農協の土地に町が資金を出して建設し、今まで運営は農協がして來たが、農協が赤字続きで撤退するという事だが、ふるさと館は九重町の玄関口であり、観光案内もその中で行つてゐる事を考へ、行政として積極的にこのふるさと館に関わり、地産地消で地域内循環の中心的な位置づけとして考へるべきではない。



新たな船出の『ふるさと館』

答 今からは、この協議会と話し合いながら必要に応じた支援をしていきたくたい。

小川克巳



吊り橋関連の財政は

町長／最大限優良債を活用

追加工事費は

試掘調査に問題はなかつたか

吊り橋の財政展望は

問 吊り橋関連工事費、約15億円の債務負担を14年に可決したが、その後、追加工事費が出るのではないかと聞く。過疎債の配分ゼロと含めてダブルバンチをくらつた形だが、具体的にどのような追加費があるのか伺いたい。

問 橋の本体を支える主塔部分で地質調査を2千4百万円かけて行つたが、結果として調査が生かさ

れなかつたことになる。調査の仕方に問題はないか伺いたい。

問 県も大分県観光の浮揚の場として重要な事業と位置付けて、14年に全面的に支援をするという約束の中でこの事業はスタートした。14年に約1億円、15年に約7億円の計8億円の過疎債を適用させていただいたが、16年分約7億円が打ち切られた。

問 塔の本体を支える主塔部分で地質調査を2千4百万円かけて行つたが、結果として調査が生かさなかつたことになる。調査の仕方に問題はないか伺いたい。

問 県も大分県観光の浮揚の場として重要な事業と位置付けて、14年に全面的に支援をするという約束の中でこの事業はスタートした。14年に約1億円、15年に約7億円の計8億円の過疎債を適用させていただいたが、16年分約7億円が打ち切られた。

問 県も大分県観光の浮揚の場として重要な事業と位置付けて、14年に全面的に支援をするという約束の中でこの事業はスタートした。14年に約1億円、15年に約7億円の計8億円の過疎債を適用させていただいたが、16年分約7億円が打ち切られた。

問 県も大分県観光の浮揚の場として重要な事業と位置付けて、14年に全面的に支援をするという約束の中でこの事業はスタートした。14年に約1億円、15年に約7億円の計8億円の過疎債を適用させていただいたが、16年分約7億円が打ち切られた。

3億円超の増額見込み

答 指摘のように約3億円超の大額な増額となる見込みです。中でも本体の風撓れ防止や橋脚部分の地盤強化、用地購入費などで施設事業費は、当初計画の15億1千万円から18億数千万円に膨らむ可能性が高いと思われます。

答 指摘のように約3億円超の大額な増額となる見込みです。中でも本体の風撓れ防止や橋脚部分の地盤強化、用地購入費などで施設事業費は、当初計画の15億1千万円から18億数千万円に膨らむ可能性が高いと思われます。

たまたま強い岩盤の所を試掘



大吊り橋、中村側の橋脚

知事も最大限支援約束

答 これまでに約8億円の過疎債をいただきまして、16年度分約7億円がヒアリング段階では着工もして良いという話であつたが、突如11月16日にゼロ解説が来て、苦慮しているところです。

これで、北方側と中村側合わせて12カ所の地質ボーリングを行いました。

中村側は地盤が悪いと判断され主塔部分に深基礎

石であつたと判明し、試掘調査にお金をかけてでもボーリング本数を増やすべきだったと深く反省しています。試掘調査そのものは問題はなかつた

い。お互いに知恵を出し合いましょうという話もしていただいた。今後も県の指導を受けながら行うが、地域再生事業債を利用させていた。たくようになりました。今後においても交付税措置のあるものや、

防衛の交付金等研究しながら持ち出しをできるだけ少なくしようと考へています。

6月議会には検討を加えて、財源は示していきたいと思っています。

これまで、国・県に公式・非公式に折衝してきたが、最終的に知事

との協議で合併のベナル

ティーではない。県としても重要な観光施設であることをから完成に向けて最大限支援をしていきた

佐藤勝憲



中学校統合の考えは

町長／統合審議会の立ち上げ



答 平成15年度より、学校教育諸問題の検討委員会を設置して、中学校統合問題を積極的に議論を進め、新年度より中学校統合審議会（仮称）を立ち上げて積極的に取り組んでいきます。

問 子どもの学力向上や各種スポーツ等が少数校では取り組みにくい。特に大分県下でも玖珠郡、内でも九重町の教育やスポーツ水準が低いと言われる。町内の中学校の一所当たりが100人を割る状況の中では各校の維持管理費も膨大であり、たとえば南山田小学校の改修費が3億5千万円程度予算化されているを見ても、年々の経費は増大する中で、生徒数の減少は高水準の教育は望めないのでは。

問 職員にも痛みを。自律を運んだ町としては、外圧内圧が強くなると考えられる。職員としてどのように取り組むか。

自律の町づくり

職員組合も

答 御指摘は職員の給与の減額の件であろうと思います。職員組合に問題を提起して、組合も検討中です。今少し猶予をいただきたい。



「自律の町づくり」
職員改革の先頭に立つ

問 鳴子川大吊橋の早期完成を。
県道、散策道の工事の進捗状況は。



三一町中学校 今年度生徒数98名



鳴子川大吊橋の工事現場

答 用地交渉を進めていきに考えているので、用地が解決次第工事発注に向けて努力します。



鳴子川大吊橋の工事現場

早期完成を

県も前向きに

内部からの
改革を

問 自律の町づくりについて、職員の給料について、我が町は自律の町で歩んで行く事にした。これから先は色々な事で県のしめつけがある。これに耐えるためには、内部から改革をして行く事が要求される。そこで、職員の手当あたりを、なくすか、給料を下げるかして、自らが改革の先頭に立つてもらいたい。



穴井太輔



住民に具体的な説明を

町長／タウンミーティングを予定



問 自律の町づくりを掲げ、10月に当選して早6ヶ月が経過した。この6ヶ月間に、色々な出来事があった。大吊橋に過疎債がつかなくなつた事で、住民は不安を抱いている。

また、17年度の予算も緊縮型予算であり、福祉の切り捨て、また住民の負担増があるのではという意見も多い。住民の不安解消のためにも、説明会をする必要があると思うが！

行財政改革は民間依託も



郡老人ホーム『亀鶴苑』

今後の方針について 未来に開ける町に

問 住民の中には色々な意見がある事は当然と思います。九重町は自律する事で機構改革も行い、關係を作り、第四次行政改革を進め、経常収支比率87、公債比率13を上限とした目標で町作りを進め

た結果が今日です。

今後は心を一つにし、



東飯田小学校グラウンドでの子ども達

学校は安全か

5件もの声をかけられ乗るよう勧められる事件が起きた。

町民の協力を

答 危機管理マニュ

アルの見直し、施設の

整備を進め、安全

教育の充実に努めてい

き、また、地域への

見守りを呼びかけて、

町あげて協力をお願

いします。



郡老人ホーム『亀鶴苑』

今後の方針について 未来に開ける町に

問 住民の中には色々な意見がある事は当然と思います。九重町は自律する事で機構改革も行い、

關係を作り、第四次行政改革を進め、経常収支比率87、公債比率13を上限と

した目標で町作りを進め

た結果が今日です。

今後は心を一つにし、

九重町のすばらしい資源

を活用し、未来に開ける

町になる様頑張ってい

問 先般本町の組織機構を発表した。この件は庁舎内をスリム化し住民サービスの向上につながる事と期待しているが、町より出向している郡老人ホーム鶴亀苑、郡ごみ焼却場等の見直しはしないのか、職員の時間外手当等も含め職員給料削減の考えはないか。

答 清掃センターについて、広域圏の中で議論を進め、職員体制も含め検討を加える。また、危鶴苑も施設も老朽化して建設問題もあり、問題を解決しながら、民間への依託も検討が必要と思われる。

問 住民の一部に、2町合併をすべきではないかという根強い意見がある。先日、議員代表5名と「2町合併を推進する九重町民の会」と話し合いをしました。市町村を取り巻く状況は日々変化しているが、町長の「当面、単独、自律の町づくりをするとい

う方針」に変わりはない

ます。

町農業の現状と 長期的なビジョン作成を

町長／集落、認定農業者中心で



は依然として厳しいが、農業と観光の町として、日本一の吊り橋の町として、農業の振興策として、現状を踏まえ、長期的な戦略を図る必要があると考えるが、推進方法について伺いたい。

答 最近の10年間で見ますと売上高については、増減はありますか、総体では約47億円（10年前）が44億円（現在）となつており、米の減った分が総体的に減っているのが現状です。

今後の取り組みですが、認定農業者を中心としており、機械の利用組合とか、リサイクル営農組織を作つて、一緒に農業を行なう姿が出て来ており、その方向で推進していきます。



ハウスでのミニトマト栽培



森林組合共販所

研究会作りを

高齢者向け 作物選定

九重材の ブランド化は

合同会議で 提案したい

問 農業従事者の高齢化に伴う担い手対策について、また後継者問題、県は後継者対策として、粗収入1,300万円の売上目標を掲げ推進して行こうとしているが、今後の取り組みを進める為に、100グループ研究会を作り推進してはどうか。

答 高齢化は大変な問題であります。高齢者向け集落での将来ビジョンがないと交付金がありませんから、集落を中心に、最悪でも機械の共同利用段階までは進めたいと考えております。

問 林業はもはや経営としては成り立たない現状にあります。具体的にどうする方法で、ブランド化と消費拡大を図るのか、ヨーロッパでは「新月伐り」という方法で原本の伐採が行われており、差別化ブランドとして研究してはどうか。

答 極めて厳しい現実であります。適期作業と乾燥材等の安定供給体制こそ、九重材としてのブランド化につながると考えます。町内での公共事業での活用を進め消費の拡大に努めます。

問 農業従事者年代別割合

20代	30代	40代	50代	60代	70代
9%	11%	19%	18%	23%	20%

新規就農者の推移

11年	12年	13年	14年	15年
3人	5人	2人	3人	6人

農産販売粗収入比率

300 万円	500 万円	1,000 万円	2,000 万円	3,000 万円
79戸	138戸	62戸	13戸	8戸

九重町農業の現状（2000 農林業センサス）

10年間の生産額の推移

（単位：百万円）

	H6	H15
トマト	368	404
キャベツ	152	24
梨	254	145
椎茸	732	657
花卉	527	530
肉用牛	786	584
米	1,064	640
乳牛	368	279
肥育牛	95	489
白ネギ	1	46
生産合計	4,690	4,344

問 「新月伐り」は初めてで、ブランドになれば良いと思われますので、両町、森林組合との合同会議で提案していきたい。

江藤一幸



財政出費をどう制す

町長／「助役」・「収入役」欠員

問　国は、三位一体に伴う地方交付税の段階的な削減を始めた。10年15年先も、健全財政を維持するため、今すぐ何を行うのか……？単独で行くということは、今までと違った信じられないことを大綱を振つて改革するということだ。重大な時に必要なことは思うが、助役と収入役は当分の間置かない。4年間で総額約1億円弱のお金が浮く。組織再編で、今年参事制を導入するが、この参事の方々に助役、収入役代理の仕事をしていただきたいらどうか。

答　昨年3月の合併凍結後、4月から四役の給与を下げる、7月からは議会も協力いただき、課長も下げ、今、職員組合にもお願いしている。選挙の

大吊り橋は当面の間、吊り橋本体と中村工リアの周辺整備を1期工事とし、北方工リアから横断道路周辺整備を2期工事とする、2段階で考えたらどうか。

問　「2町合併を推進する九重町民の会」の皆さんの立場で、新聞折込等による問題提起がなされている。これを見た多くの町民の方々が、重大な関心や心配をされているのが、今の我が町の現状だと思う。

137行政区を回り、町民の皆さんに危惧することも十分に聞いて、また説明もし、住民と行政の信頼関係を再構築することが、今一番大事だと

答　タウンマーティングを企画の方で計画するよう指示しています。全ての行政区を回るのは難しい。過疎地の問題、自律の

時、三役制度はもう要らない、見直すと公約しました。三役の条例改正まではいつおりませんが、欠員でいこうと思つています。

吊り橋本体を作つたら後の周辺整備については、状況を見てやつたらどうか、内部でもそういう話も出ています。いろんな補助制度・起債制度等研究しながら進めていきます。

137行政区で説明を

問　どぶろく特区になることによって、米づくりの皆さんから要望があります。前向きに検討をし、どぶろくを作つて帰つてもらうという宿泊交

流につなげたいと、グリーンツーリズムや民宿等の皆さんから要望があります。前向きに検討をし、1000m以上高地に陸上の強化トレーニング

答　瀬戸内酒特区は、財務省に關係した事業で、農家民泊等における酒類の製造許可要件の特例になります。町内には、酒造会社があり調整も必要かと思いますが、関係機関等と相談していくたい。これにより観光客の呼び込みの一助になればと考えています。

一日山裾野が陸上競技の高地トレーニングには最適な場所と思つています。中学校及び実業団の夏合宿は、昨年、利用泉水に宿泊利用していました。原材料の支給で今後検討していきたい。地元管理者と十分協議検討していきます。

問題等をあやふやに答えては、逆に不安を与えることは、必ずしも幹部が行つて説明し、質問を受けるという形がいいと思います。各地区3ヶ所ぐらい、小学校区単位でやろうかと考えています。

説明会は計画



一昨年の合併を考える行政区懇談会（相模原）

協議・検討 前向きに

河野範成



財政運営と過疎債の顛末

町長／改革に取り組む



行財政改革、真っただ中の九重町

避難場所としても必要

答 中学校統合は本年具体的に進めるため、委員会を設置して年度内の答申を得て予定どおり進めたい。小学校の件は財源的には非常に厳しいですが、災害時の避難場所も必要です。検討委員会で十分検討して財源は見つける。

問 多くの皆さんが因睡を飲んで注視していた過疎債が不調となつた。その背景に非合併の選択が理由と県側。このことは本町財政に大きく影響する。今までの健全財政は過疎債の活用があつてのこと。今後も県との信頼関係を重要視して各種補助事業をも含め財源確保に努めるべき。また、情報提供がなされてない

答 合併については地域の誇り、愛着、愛情を共有できる相手が見つからなかつた。いい議論ができる時期が必ず来ると思う。今の状況では負担もサービスも同じにはならないが、町民と一緒に改革に取り組む。

問 多くの皆さんが因睡暗鬼になつてはいる。住民说明を。

小学校は一地区 一校を視野に



今年度、児童数77名の淮園小学校



今年度、児童数19名の野矢小学校

問 学力向上は永遠の課題。多くの児童生徒が一堂に会して学ぶことが教育の観点から見ても良いと思われる。5年後に約19億円で統合中学校舎建築が計画されている、予定どおりに行くのか。4年後淮園小の改築も予定されているが、少人数の学習環境が、そして複式学級では児童が可哀想に思われる。多くの友と切磋琢磨して学ぶことこそ、人は成長していく。一地区一校も視野に入れて議論すべき時期ではないか。

答 中学校統合は本年具体的に進めるため、委員会を設置して年度内の答申を得て予定どおり進めたい。小学校の件は財源的には非常に厳しいですが、災害時の避難場所も必要です。検討委員会で十分検討して財源は見つける。



自律の町づくりの重点は

町長／職員の意識改革を行う

問 町が単独の道を進むとして、合併協議凍結を表明してちょうど1年になりますが、単独の町づくり計画が、まだ町民に示されていない。自律の道を進むことによって、町民が安心して暮らせる町づくりができるという具体案を早期に示すべきである。まず、町長の今期在任期間である約4年間にしぼって、どんなところに重点を置いて、自律の町づくりを進めようとしているのか伺いたい。

答 自律の町づくりのための重要な施策は、「定住1万人、交流2万人」の実現。今、建設中の大吊橋等を早く仕上げて、いろんな形で交流の場として有効活用していく。この4年間のうちに、いろんな改革をしなければならないが、特に職員の意識改革を行なう。各課長を中心とした職員全員で話し合つて進めている。財政面を中心とした全体的な改革案は、この4月までに作つて実施していく。



「自律の町づくり元年」スタート

問 この3月4日に、今後の町財政の推計について説明があったが、その資料によると、17年度から5年間の経常収支比率は次のようなになっている。

年度	経常収支比率
17	86.0%
18	86.9%
19	95.2%
20	96.5%
21	95.9%

19年度から、経常収支比率が急に高くなっている主な要因は、19年度か建設事業債が、当初の計画よりも大幅な増額になる高める要因である。

また、鳴子川の大吊橋建設事業債が、当初の計画よりも大幅な増額になる高める要因である。

経常収支比率を5%下げる

答 確かに、19年度から一気に経常収支比率が上がつてくる。一年前は、そういう予測はなかつた。経常収支比率を1%下げるために、経常経費、固定経費を3千万円前後節約しなければならない。5%下げるには、1億5千万円は何かの形でせりださなければならぬ。17年度、18年度で相当の覚悟をして改革していくしかなければならない。当面、1億5千万円、これをどう減らしていくかが、今言える目標数値ではないかと思う。

男女共同参画行政の着実な推進を

問 本町の男女共同参画行政が「ここえ女性プラン」に基づいて、着実に推進されることを願つて、次の点がどのようになっているか伺う。

18年度以降の新しい男女共同参画プランの策定・実施計画の策定・実施計画の策定

18年度以降の新しい男女共同参画プランは、17年度中に策定されなければならないが、その策定及び推進にあたつては、府内組織だけでなく住民の実質的参画を要望する。実施計画はまだできていないので、17年度に入つて、課の新しい体制ができ次第、早急に前の見直しをして、17年度分の計画を策定する。推進体制も充分機能していないので見直しをする。

18年度以降の男女共同参画プランは、17年度に住民のいろいろな意見を聞いて議論をし、実現性のある計画を策定したい。

自然豊かな

九重に住んで30年

東坂田 (物見塚)

永楽 麻美 も



縁あって九重町に住みはじめた30年の月日が経ち、生まれ育ったふる里よりも長くなりました。その間に変わったとは言え、まだまだ自然豊かな九重町。都会へは遊びに行つても暮らす所は田舎が良い、自分で作った新鮮な物を食べ、四季の移り変わりを肌で感じ、青い空や澄み切った空の星、鳥の声、何気なく見ているけれど誰にでも簡単に手に入らないリッチな生活を私はしていると思うし、これからもこんな環境は大事にしていかなければと思います。



仲良く、梨の選定をする永楽さん夫婦

そんな九重町にも例外ではなく、日本全国合併の波が押し寄せ、今後の

成り行きが関心事のひとつです。どっちの方向に進むにしても利害関係で決めるのではなく、町民の声で決めるのであれば納得もいくのではないかと

うか。その声を聞き、代弁してくれるのが貴重な一票を投じた議員さんだと思います。数多くの

町民と話し合う姿勢は大切な事だと思います。

毎号議会だよりを堅苦

町長や町議に エールを

角山田 宗野

梅木 定光 も



わたしの ひとこと

2月10日の新聞に九重町議の県への陳情がのっていました。私達町民が一番気にしていた合併事でした。町民の一人とし噂だけ聞くと県から助成金がないなど悪い噂ばかりでした。このよう

な心のうつ憤をはらしてくれた町議の方々にさすが町民の代弁者だと心よりお礼を言いたい。本来ならば県のペナルティーが一番わかりたく心配しているのは町民の皆様ではないでしょうか。今回のように町長さんや町議さんが一緒に町民の代弁をしていただけたのが一番わかりたく心配

しているのは町民の皆様です。

今回夢の大吊橋

町も本当に良い町になるのではと思いま

す。今回の夢の大吊橋は私達の九重町議員、そして郡の代表者、県議もいる町です。町民と一緒に町民の代弁をしていただけたの

い事の言い合いで良い事であります。悪く、もう少し悪い事がわから合う、良い事も悪い事も懸命に話し合いをして5年後、10年後には本当に良かったと思える町になるよう、まず町長さん、町議の方々頑張ってください。そして町民の方々と話し合いをより多く持つ事だと思います。

私はこの町には良い町長、議員、そして郡の代表者、県議もいる町です。町民と一緒に町民の代弁をしてください。



財源の行方が気になる吊り橋

生活を私はしていると思うし、これからもこんな環境は大事にしていかなければと思います。



佐々木 静夫

自律の町作り

いよいよ平成17年度を迎える、新しい年度の始まりであります。私達九重町も自律の町作りを進めて行かなければなりません。

幸いにして我が町は、275haという広大なる土地を有しています。この土地を充分に活用して行くならば米作を中心とした農業、トマト等々、我が町の農業は県下でも有数の地位を占

めることと思われます。後輩者不足、また、少子化対策等々、どの問題をとつても農業の発展より外に問題の解決はありません。

今年度、町内6校の小学校、4校の中学校も昨年度

議員リレー

随想 39

南山田中学校1年
工藤 大器さん

淮園校区の自慢ペースト3は、温泉・ホタル・しいたけです。淮園には、九重九湯の内、宝泉寺温泉、川底温泉、壁湯温泉があります。休日や夏休みにはよくお客様を見かけます。ホタルは地区のどこでも見られます。

学校でもホタルを育てています。また、しただけ栽

心と体をいやす町に

こんな町にしてほしい

温泉と自然、農畜産物のつながりを深めることだと思います。新鮮な食べ物と温泉で体を休め、自然との触れ合いで心をいやす町になるといいなと思います。

培が盛んで、多くの家で作られています。九重町全体でも、九重もある豊富な温泉、竜門や震動の滝、九酔渓、雄大な飯田高原といつても豊かな自然、しいたけを始めトマト・豊後牛・花等の農畜産物、こんな魅力ある九重町には多くの観光客が来ます。役場に勤めていた父に話を聞くと、観光客数は県内でも上位にあるということですが、宿泊客が少ないのが問題だそうです。

僕は、宿泊客を増すには、県外の人にもっとPRすること、九湯が特色を出し、



ホタルの成虫、オスとメス

今まで何となく議会だよりを見ていた。しかし議員になり、広報委員になつて自分で議会だよりを作つて見て、広報を作るという事は本当に大変な事だとつくづく思う。

議員が行った一般質問の原稿は、それぞれ本人達で、写真撮影も構成も、すべて広報委員がしているなんて、今まで思つてもいなかつた。

三ヶ月に一回の議会だよりだが、三ヶ月の間に九重町は大きく変わつていて、鳴子川の吊り橋の事、政治倫理条例の事、議員定数が13名に減る事、町の新年度予算、自律の町づくりに向けて行財政改革等、伝えた事はいっぱいあるが、どうだけ伝える事ができるか不安である。



に比べ、入学生の数が減少しています。この様な事態を見る時、私達は今後の町造りが如何に重大な責任の重い時を迎えているかを考えています。

今年度、町内6校の小学校、4校の中学校も昨年度

私共議員一同、全力を上げて町造りに尽くす所存でございます。

今年度、町内6校の小学校、4校の中学校も昨年度